

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Academic GrammarIV		(NCR22U)
講義名 (コード)	Academic Grammar IV A		(NCR22UA)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	様々な文型や言い回しを学習し、それを使って自分を表現できるようにする
全体の内容と概要	構文・品詞の役割を学び、練習問題を繰り返して理解を深める
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	to動詞の原形 動詞 ~ing の活用の違い 復習	afraid of ~ing/ afraid to や sorry for/ sorry to の違い等を学び適切に使えるようにする
2	see do / see ~ing の使い方を理解する	それぞれをどんな場面で使うかを学び、場面想定をして使い分けてみる
3	分詞構文を理解する	2つの事柄が同時に生じる時に~ing句を使えることを学ぶ
4	関係詞who/that/which を使えるようにする	who/that/whichを使って2つの文を一つにする練習をする
5	関係詞 whose/whom/ where	whose/whom /where を使って2つの文を一つにする
6	関係詞 復習	練習問題を通して関係詞を使い分けることに慣れる
7	関係詞 制限・継続用法の違いを理解する	カンマをつかった継続用法と制限の違いを説明し、使い分けてみる
8	~ing句と~ed 句を使った表現を理解する	後置修飾について学び様々な状況を表現してみる
9	~ing/ ~edの語尾を持つ形容詞を理解する	bored/boring ・ interested/ interestingの違いを理解し使い分けられるようにする
10	可算名詞・不可算名詞を知る	可算・不可算名詞を紹介し、よく間違えられる名詞に注目する
11	単数か複数か注意すべき名詞を覚える	glasses/ scissors/ socks…等の複数で取り扱う名詞やs が見つからない複数形の名詞を覚える
12	所有格の言い方を覚える	アポストロフィーの付け方で変わってくる所有格に注目してみる children's ・ friends' 等
13	テストのための復習	テストの対策問題をする
14	テストのための復習	
15	テストFB	テストの解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	マーフィーのケンブリッジ英文法 中級編
参考文献・資料等	
備考	